

LRP

Let's Read Project
2014

レポート

LRP ルームは、図書・情報館
2Fです。「開室中」であれば、
メンバーが中にいます。
気軽に声をかけてください。



LRP レポート Let's Read Project 2014

2015年3月20日発行

【編集】LRP レポート 編集委員会 【発行】和光大学附属梅根記念図書・情報館
〒195-8585 東京都町田市金井町2160 TEL:044-989-7494 FAX:044-989-2250

デザイン 木下 弥

和光大学附属梅根記念図書・情報館
Let's Read Project 2014





Contents

はじめに	2
厳選 POP	3-4
LRP プロフィール Vol.1	5
LRP2014 年度活動報告	6
恒例「新入生歓迎本棚 2014」公開	7-8
「新入生歓迎本棚 2014」公開記念プレゼンテーション開催	9
「味覚本棚／生物本棚」公開	10
東京都立多摩図書館見学ツアー	11-12
「Counter」第 12 号発行	13
「Travel with Book ～映像・静止画世界へのいざない」公開	
ビブリオバトル in 和光フェスティバル 2014 開催	14
「昭和の回想」本棚公開	
第 8 回選書ツアー	15
ビブリオバトル	16
番外編 Pick Up Book	17-20
本棚日和	21-23
LRP プロフィール Vol.2	24
今年度を振り返って	25-26



はじめに

「知識は力なり」そんな言葉がある。「知識」に密接に関わる「本」に携わる Let's Read Project (以下 LRP) も今年で 7 年目になった。LRP は本棚企画やビブリオバトル、選書ツアー、図書館見学などの活動を通して本を読み、その楽しさを共有することを目的としている。

新入生歓迎本棚を筆頭に、今年は 4 度の本棚企画を展開した。中でも「味覚本棚／生物本棚」はダブル本棚企画で様々なジャンルの本が集まったのではないだろうか。ジャンルが違う本が一つの棚に集まる。それは、この本棚企画でしかできないことだ。新入生が加わり各々が違う分野に注目しているからこそ、この本棚企画が成功するのだと思う。

新聞「Counter」は 2010 年 7 月に刊行され、今年で第 12 号目となった。活動目標の「本を読む」ということに関連した情報を多数載せている。LRP メンバーが記事を出しレイアウトをした小さな新聞は、今年も内容が盛りだくさんなものとなった。

毎年行われている選書ツアー。学生メンバーが図書・情報館に入れる本を選ぶことができる。気になっている本やその日に出会った本など、学生ならではの視点で選書された本はオススメだ。

たくさん本が存在するこの世界の中で、自分が気に入る本との出会いは一期一会ではないだろうか。そんな出会いを大切にしている私たちの一年間の活動を是非知ってもらいたい。

表現文化学科 2 年 月兎

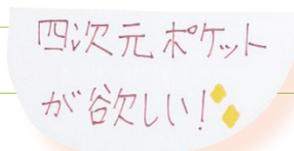
厳選!
POP 今年も、数々の企画本棚を行う中で、本に添えるPOPも力作が集まりました。厳選したPOPをご覧ください。



昔の本みたい!
『本当は恐ろしいグリム童話II』



カラフル
『クリスマスキャロル』



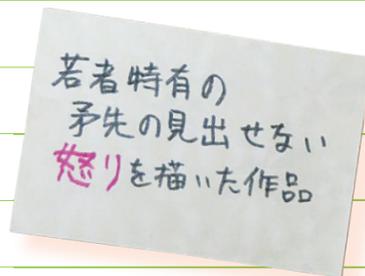
by 経済学者
『もしドラえものの「ひみつ道具」が実現したら』



参考になるかどうかは腕したい
『ミュシャの世界』



黒猫と魔女には驚くべき秘密が…
『魔法と猫とあの秘密』



シンプルが一番なんですよ
『ネガティブハッピー・チェーンソーエッチ』



マスキングテープが素敵な 雰囲気を出しています
『海の日』

はなかコレクション

春に卒業した、一人のメンバーが新入生歓迎本棚のために書いたポップコレクションです。大事なことなので二回言いますが、一人の人が書きました。



- 紹介された本たち
- (1 段目左より) 『からだにうれしい魚の便利帳』
『もっとからだにうれしい野菜の便利帳』
『小さな実験大学』
 - (2 段目左より) 『中高生のための探究学習スキルワーク』
『Rain Won't: 雨ニモマケズ』
『キモチのかけら: My sixteen report』
 - (3 段目左より) 『世界の日本語教室から: 日本を伝える 30 カ国の日本語教師レポート』
『オキシベタルムの庭』
 - (4 段目左より) 『包む: 日本の伝統パッケージ』
『免疫力を高める「副交感神経」健康法: 心と体のバランスを整える新習慣』
『SD が支える大学づくり』

【所属学科】経済学科

【学年】4年

【P.N】義経

【好きな本】江國香織『とるにたらないものもの』、アガサクリスティ『そして誰もいなくなった』、阿刀田高『ことば遊びの楽しみ』

【好きな音楽】邦楽全般（広く浅く）

【趣味（読書以外）】旅行・映画鑑賞

【自分を動物に例えると】温厚なくま

【好きな本屋（古本屋含む）】啓文堂京王八王子店

【好きな授業（理由）】世界の不平等問題（少人数制で、ゲームなどをしながら貧困や不平等な問題を学んでいて、考えさせられ、為になる授業だから）

【行ってみたい場所】インド

【かなえたい夢】海外に住む

【好きな言葉】なんとかなる

【所属学科】総合文化学科

【学年】4年

【P.N】おおかみどらごん

【好きな本】ミヒヤエル・エンデ『はてしない物語』、クリス・ダレーシー『龍のすむ家』、柴本翔『パンデモニウム』etc

【好きな音楽】MAN WITH A MISSION、ALI PROJECT、分島花音さん etc

【趣味（読書以外）】落書き、小説描き、竜と猫と狼と狐のグッズ収集

【自分を動物に例えると】トガリネズミ（常に空腹）

【好きな本屋（古本屋含む）】紀伊国屋書店新宿南店（児童書が豊富でポイントも貯まる!）

【好きな授業（理由）】松村一男「神話学入門」（普段触れる機会の少ない無文字社会の神話の話が聞ける）

【行ってみたい場所】京都、北海道、ヨーロッパ

【かなえたい夢】書齋のある住まい、立体造形創作への挑戦

【好きな言葉】肉を斬らせて骨を断つ

【所属学科】総合文化学科

【学年】4年

【P.N】致遠

【好きな本】国分隼人『将軍様の鉄道：北朝鮮鉄道事情』

【好きな音楽】頭のねじが一本くらい外れたオタ系の曲が好きです（「千本少女」等）

【趣味（読書以外）】映画鑑賞、ゲーム（昨年末より艦これの提督なんかもやっています）

【自分を動物に例えると】ウサギ

【好きな本屋（古本屋含む）】早稲田古書店街

【好きな授業（理由）】「現代の国際関係とその政治的背景」土曜3限

先進国と途上国との貧富の格差や紛争などといった問題がなぜ起こるのか。どうすれば解決できるのかをロールプレイを交えて学ぶ授業です。戦争や貧困を無くするのがいかに難しい事であるかが体感できます。

【行ってみたい場所】和光の裏山（4年間通っていて一度も足を運んでいない。）

【かなえたい夢】一生をかけて叶えたいと思える夢を見つけたい。

【好きな言葉】功なり名をあげて退くは君子の道なり（『老子』）

【所属学科】総合文化学科

【学年】3年

【P.N】グリズリー

【好きな本】泉鏡花『眉かくしの霊』『黒髪』、妖怪・怪談関連、天野こずえ諸作品

【好きな音楽】ジャズ(モダン、バップ系のトリオ編成)、ロック(メタル、グランジ寄り)

【趣味（読書以外）】映画鑑賞(名画座ばかりなので単館系か20世紀の作品)、情眠

【自分を動物に例えると】クマ、もしくはトド(幼少時はカモノハシ)

【好きな本屋（古本屋含む）】西荻の盛林堂書房、東京周辺での古書即売会

【好きな講義（理由）】発表形式やディスカッションがある講義(話している人間の内が見えるような気がする)

【行ってみたい場所】金沢市内、中国・四国・九州地方

【かなえたい夢】まずは卒業を...

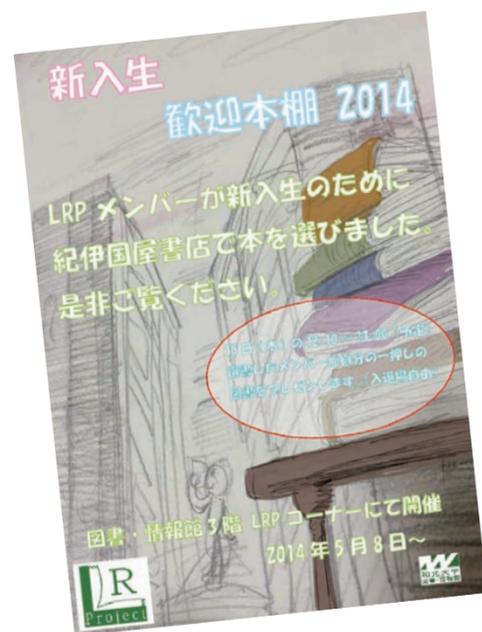
【好きな言葉】日々是好日

LRP 2014年度 活動報告

- 5/8 (木) 「新入生歓迎本棚 2014」公開
- 5/15 (木) 「新入生歓迎本棚 2014」公開記念プレゼンテーション開催!
- 7/17 (木) 「味覚本棚/生物本棚」公開
- 8/27 (水) 東京都立多摩図書館見学ツアー
- 10/17 (金) 新聞『Counter』第12号発行!
- 10/31 (金) 「Travel with Book ~映像・静止画世界へのいざない」本棚公開
- 11/2 (日) ビブリオバトル in 和光フェスティバル 2014
- 1/13 (火) 「昭和の回想」本棚公開
- 2/5 (木) 第8回 選書ツアー開催

恒例
「新入生歓迎本棚 2014」公開

春休みに LRP 学生メンバーで行った「選書ツアー」で購入した本に、POPをつけ、展示しました。
今年もいろいろな視点から、新入生歓迎のための本が揃いました。ぜひ、ご一読を！



『新入生歓迎本棚 2014』ブックリスト

タイトル／著者ほか	出版社
1 「つながる／つながらない」の社会学：個人化する時代のコミュニティのかたち / 長田攻一編；田所承己編	弘文堂
2 「幸せをお金で買う」5つの授業 / エリザベス・ダン、マイケル・ノートン著；古川奈々子訳	KADOKAWA
3 Giongo gitaigo j' isho = ぎおんごぎたいごじょ / 牧田智之 [著]；新装版	パイ インターナショナル
4 Little tree = Petit arbre / 駒形克己作	One Stroke
5 NHK ようこそ！ / 滝本竜彦 [著]	角川書店
6 The books : 365 人の本屋さんがどうしても届けたい「この一冊」 / ミシマ社編	ミシマ社
7 オキシペタルムの庭 / 滝羽麻子著	朝日新聞出版
8 カイジ「命より重い！」お金の話 / 木暮太一著	サンマーク出版
9 からだにおいしい魚の便利帳 / 藤原昌高著	高橋書店
10 キモ子のかけら：my sixteen report / 華恵著	筑摩書房
11 グリム童話の傑作選で英語を学ぶ：完全新訳 / Jacob Grimm, Wilhelm Grimm [著]；諸兄邦香編訳	国際語学社
12 ジブシー ようこそ！：旅バカ OL、会社卒業を決めた旅 / たかのてるこ [著]	幻冬舎
13 つむじ風食堂と僕 / 吉田篤弘著	筑摩書房
14 ドーナツを穴だけ残して食べる方法：越境する学問・穴からのぞく大学講義 / 大阪大学ショセキカプロジェクト編	大阪大学出版会
15 なにごともなく、晴天。 / 吉田篤弘著	毎日新聞社
16 ニシノユキヒコの恋と冒険 / 川上弘美著	新潮社
17 ネガティブハッピー・チェーンソーエッチ / 滝本竜彦 [著]	角川書店
18 ビジネスで差がつく計算力の鍛え方：「アイツは数字に強い」と言われる 34 のテクニック / 小杉拓也著	ダイヤモンド社
19 もしドラえものの「ひみつ道具」が実現したら：タケコプターで読み解く経済入門 / 藤野英人著	阪急コミュニケーションズ
20 もっとからだにうれしい野菜の便利帳 / 白鳥早奈英、板木利隆監修	高橋書店
21 ユービック / フィリップ・K. ディック著；浅倉久志訳	早川書房
22 雨ニモマケズ = Rain Won't / 宮沢賢治文；アーサー・ビナード英訳；山村浩二絵	今人舎
23 間違いだらけの生活保護バッシング：Q&A でわかる生活保護の誤解と利用者の実像 / 生活保護問題対策全国会議編	明石書店
24 若者のための社会学：希望の足場をかける / 豊泉周治著	はるか書房
25 職業欄はエスパー / 森達也 [著]	角川書店
26 世界の日本語教室から：日本を伝える 30 カ国の日本語教師レポート / 国際交流基金著	アルク
27 聖なる怠け者の冒険 / 森見登美彦著	朝日新聞出版
28 戦う日本漁船：戦時下の小型船舶の活躍 / 大内建二著	光人社
29 知っておきたい日本の神道 / 武光誠 [著]	角川学芸出版
30 知っておきたい日本の神話 / 瓜生中 [著]	角川学芸出版
31 地球の食卓：世界 24 カ国の家族のごはん / ビーター・メンツェル、フェイス・ダルージオ著；みつじまちこ訳	TOTO 出版
32 日本のミイラ信仰 / 内藤正敏著	法蔵館
33 日本型排外主義：在特会・外国人参政権・東アジア地政学 / 樋口直人著	名古屋大学出版会
34 半藤一利と宮崎駿の腰ぬけ愛国談義 / 半藤一利、宮崎駿著	文藝春秋
35 美しく不思議なウミウシ / 今本淳写真・文	二見書房
36 不思議な薬草箱：魔女・グリム・伝説・聖書 / 西村佑子著	山と溪谷社
37 包む：日本の伝統パッケージ = Tsutsumu : traditional Japanese packaging / 目黒区美術館編	ビー・エヌ・エヌ新社
38 僕らの人生を変えた世界一周 / TABIPPO 編	いろは出版
39 免疫力を高める「副交感神経」健康法：心と体のバランスを整える新習慣 / 班目健夫著	永岡書店
40 木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか / 増田俊也著	新潮社
41 野村克也の「菜根譚」 / 野村克也著	宝島社
42 林修の「今読みたい」日本文学講座 / 林修編著	宝島社

5/15

「新入生歓迎本棚 2014」
公開記念プレゼンテーション開催！

初めての試みとして、春休みの選書ツアーに参加したLRP学生メンバー5名が、選んだ本の中から「おすすめの1冊」をプレゼンテーションしました。図書・情報館3階LRPコーナー前のフリー閲覧コーナーにて、「どうしてこの本を新入生に読んでほしいか」、「この本を通して伝えたいこと」、「この本はここが面白い！」などなど、熱い思いを楽しく、語ってくれました。



この日紹介された
本たち

- ・『ドーナツを穴だけ残して食べる方法：越境する学問・穴からのぞく大学講義』
大阪大学ショセキカプロジェクト編 大阪大学出版会
- ・『木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか』 増田俊也著 新潮社
- ・『美しく不思議なウミウシ』 今本淳写真・文 二見書房
- ・『グリム童話の傑作選で英語を学ぶ 完全新訳』
Jacob Grimm, Wilhelm Grimm 著 諸兄邦香編訳 国際語学社
- ・『もしドラえもん「ひみつ道具」が実現したら：タケコプターで読み解く経済入門』
藤野英人著 阪急コミュニケーションズ
- ・『つながる／つながらない』の社会学 個人化する時代のコミュニティのかたち』
長田攻一編 田所承己編 弘文堂
- ・『雨ニモマケズ = Rain Won't』 宮沢賢治文 アーサー・ビナード英訳 山村浩二絵 今人舎
- ・『Little tree = Petit arbre』 駒形克己作 One Stroke

7/17

「味覚本棚／生物本棚」
公開

夏の企画本棚は、ダブル企画です！

味覚本棚

「甘い」「しょっぱい」「辛い」「苦い」…味にもいろいろありますが、「このストーリー甘いな」とか「ほろ苦い経験」など、メンバーの独断でいろんな本を選びました。



夏の企画本棚第1弾！
「甘いストーリー」「ほろ苦い経験」など、
味覚で表現できる本を、メンバーの独断で集めました。
7/17～ 図書・情報館にて公開中

生物本棚

動物・植物の図鑑や、動物が主人公の物語などを集めました。アウトドアの夏のお供にぜひ！



夏の企画本棚第2弾！ 動物・植物を含めた自然に関する本を集めました。

7/17～ 図書・情報館
3階LRP本棚



東京都立多摩図書館 見学ツアー

2014年度の夏の見学ツアーは、8月27日、立川市にある東京都立多摩図書館に行ってきました。

都立図書館は現在、南麻布の中央図書館と多摩図書館の2館あります。そのうち多摩図書館は、雑誌の集中的サービスを行う「東京マガジンバンク」と、子どもの読書を応援する「児童・青少年資料サービス」の2つの機能を備えた図書館です。

今回は、雑誌の専門図書館として全国初・公共図書館で最大規模の「東京マガジンバンク」に注目し、見学しました。

職員の方から都立多摩図書館の歴史や概要を教わった後、館内見学ツアーへ！

所蔵している雑誌はなんと17,000タイトル！ そのうちの約600タイトルの雑誌を過去1年分、書架で見られるようになっています。

また、見学時は、夏休みの終わり。児童・青少年サービスの企画展示として「これならできる！自由研究」と題して、111種の自由研究をカードにして並べ、それぞれ関連する本を展示していました。

閲覧部分の見学後、いよいよバックヤードツアーへ。普段、利用者は入ることのできない書庫や、映写フィルム庫に潜入！古くは明治時代から集められている「創刊号コレクション」を始め、特に力を入れて収集している「女性誌」と「鉄道雑誌」など、さすがの充実ぶりでした。

「趣味や楽しみで見ていただくのはもちろん、仕事や研究（卒業論文）などで、1つのテーマに関して、時代を俯瞰で眺めて調べられるのが雑誌の特徴ですので、ぜひ学生の皆さんにも利用してほしい」とのことでした。

自分たちの卒論にも役立つ資料がたくさんあり、雑誌の奥深さに触れられた見学ツアーでした。

みなさんも、立川まで足を延ばしてみませんか？



メンバーの感想

雑誌資料一冊一冊の保存状態がとても良い。製本もせずにあそこまで綺麗な状態を保っていられることに驚きました。

(表現文化学科4年 おおかみどころん)

雑誌専門の図書館ということで、既存の図書館にはない工夫がなされていて興味深く感じました。例えば、創刊号だけを集めた本棚があったり、夏休みの自由研究に役立つ雑誌や本をまとめて展示してあったことが印象的でした。また、実際に戦前からの雑誌を手にとって閲覧することで、歴史の流れによるページ数の増減や、創刊号発行部数の推移から日本史を肌で感じることができました。収蔵する本をより細分化するという試みは、私たちの本棚企画にも通じるところがあり、今後に生かせる見学ツアーになったと思います。

(表現文化学科3年 4410)

雑誌を日頃読まない私ですら興奮した。雑誌時代の司書さん方は言わずもがな。

(表現文化学科4年 致遠)

私が知っている雑誌や少年コミックなど数多くの知っている雑誌が保管されていた。その中でも驚いたのが昔に発行された雑誌がそのままの状態であることだ。戦前に発行された雑誌に触れることが出来たのは貴重な体験でした。

(表現文化学科2年 月兎)



10/17

新聞 Counter 第12号 発行

Let's Read Projectメンバーによる、不定期新聞『Counter』第12号が10月17日に発行されました。夏休み見学ツアーで訪問した都立多摩図書館の感想や、おなじみの映画や音楽の連載企画など、今回も盛り沢山の内容です。

第12号から
オススメの
記事を抜粋

☆今回の料理☆
カツ丼

☆材料☆
ごはん：茶碗一杯程度
豚肉かつ用 150g：1枚
卵：2個（衣用1、とじ用1）
小麦粉：適量
パン粉：適量
揚げ油：天ぷら鍋に半分くらい
玉ねぎ中：1/4
三つ葉：少々
水：150ml
市販のめんつゆ：50ml程度

☆作り方☆
①玉ねぎを薄切りにし、水とめんつゆを混ぜ合わせておく。
②豚肉に小麦粉をまぶし、溶き卵に浸してからパン粉をつけてきつね色になるまで揚げる。
③1で作っておいた割り下で玉ねぎを火が通るまで煮る。
④さらにカツを入れて、衣に割り下が染み込んだら溶き卵でとじる。
⑤ごはんを盛り付け、三つ葉を乗せて完成。

『六百六十円の事情』
入間人間 / メディアワークス文庫

☆作品紹介☆
この本は『カツ丼は作れますか?』という問いかけが地域の掲示板に寄せられたことから始まる5組の登場人物の生活を描いた群像劇です。
思いやりや愛といったほっこり系のテーマというより、「何をしたいのか」という若者の葛藤、モラトリアムからの脱却をテーマにしている作品を描いています。
読み終わった後は、おもしろカツ丼が食べたくなること請け合いです。

*総合文化学科 3年 4 4 1 0 *

日本〇〇館巡り

FILE1. 「食と農」の博物館

東京農業大学世田谷キャンパスのそばにある博物館。
館内の展示は、見たり、触ったり、いろいろな角度から楽しめる。
1階では巨大な屋久杉の標本の展示や農機具の歴史の紹介がされており、2階では日本酒の瓶のライトアップを見ることが出来る。博物館に隣接されている動物園温室のバイオリウムではマダガスカル島からやってきたレムール（キツネザルともいう）が研究飼育されている。
1階のカフェで販売されている「農大どら焼き」は売り切れる日が多い人気商品。
アクセス：東急田園都市線用賀駅からバスを利用し、「農大前」下車徒歩約3分。
入場無料、開館時間は夏と冬時間により変更。
(総合文化学科 3年 AW)

11/2

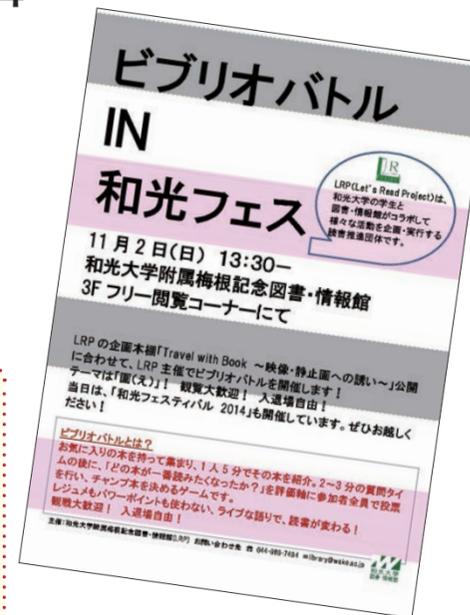
ビブリオバトル in 和光フェスティバル 2014

和光フェスティバルに合わせて開催された今年のビブリオバトル。テーマは直前に公開された本棚にリンクさせて、「画(え)」。絵やイラストに特徴のある本が紹介されました。紹介された本は絵本や小説、映画監督に関する本など、とバラエティ豊かにそろいました。

当日紹介された本

- ・『エド・ウッド―史上最低の映画監督―』
ルドルフグレイ著 稲葉紀子訳 早川書房
- ・『銀河鉄道の夜』 宮沢賢治作 清川あさみ絵 リトルモア
- ・『パンデモニウム』 柴本翔著 小学館
- ・『ごんぎつね』 新美南吉作 黒井健絵 偕成社

👑 チャンプ本は…
『エド・ウッド』と『銀河鉄道の夜』でした!



10/31

「Travel with Book ~映像・静止画世界へのいざない」本棚公開

LRP 後期最初の企画本棚は、芸術の秋におすすめの本棚です。映画・アニメーションなどの映像や、絵画や写真などの静止画、つまり「画(え)」の世界へ私たちを誘(いざな)う本を集めました。
秋の深まりとともに、芸術と読書をよくばりに楽しみたい人に向けての本棚となりました。



1/13

「昭和の回想」本棚公開

今年度最後の企画本棚は、「昭和」がテーマ。戦前・戦中・戦後…、激動の時代に活躍した有名人、出来事にまつわる本を集めました。

身近なようで、実は知らないことが多い、昭和の世界へ誘ってくれました。



昭和の回想

昭和…それは激動の時代
そんな時代の有名人、活躍した人物
出来事にまつわる本を集めてみました。
知っているようで知らない
「昭和」の世界へあなたを誘いましょう。

図書・情報館3F
LRP本棚にて公開
1/13(大)より

昭和の日

2015年度に入学する新入生歓迎本棚のための選書ツアーを、学生メンバー7名で実施しました。

場所は、紀伊國屋書店新宿本店。当日は大雪の予報でしたが、日頃のメンバーの努力が実り(?)、積もることなく、13時30分に全員集合。さらに今年は、サプライズで小関和弘館長も参加されました。

店内での選書後は、イベントスペースをお借りしてのプレゼンタイム。自分が選んだ本のオススメポイントを交換。「こんな本があったんだ!」「この本、私も知ってる!」など、新鮮な出会いがあったり、率直なコメントが出るなど、選書にあたって、白熱した議論になりました。

選んだ本は、新学期に、新入生歓迎本棚として公開します。



4年間、みんなに喜んでもらえる本とは何か、考えて選びました。
(総合文化学科4年 致遠)

もともと決めていた本の他に、店頭を歩き、自分の目でみた本もステキだなと思った本が多く、今年は、今日初めて出会った本も多く選びました。とても楽しかったです。
(総合文化学科2年 月兎)

4年間を通じ、選書ツアーは良い思い出です。新入生に、経済学に興味を持ってもらえれば、幸いです。
(経済学科4年 義経)

初参加で少し緊張しましたが、とても楽しい時間を過ごせました。
(経営学科2年 諒)

雪の降るなかでしたがメンバー全員揃っての選書ができたことを嬉しく思いました。
(総合文化学科3年 4410)

初めての選書ツアーでしたが、本を選ぶ際に人に対して勧める本を選ぶ難しさを改めて痛感しました。この反省をふまえて、来年はより良い本を選ぶように善処します。
(芸術学科1年 eme)

最後の選書ツアーということもあり、前回以上に熱が入り選書数が上限をオーバー。(笑)
気合いを入れて選んだので、今回の新入生歓迎本棚に限らず、後の和光生にもぜひ手に取って欲しい。
(総合文化学科4年 おおかみどらごん)

メンバーの感想

ビブリオバトル 2014

BIBLIO BATTLE

2014年度も、ビブリオバトルをフリー閲覧コーナーで開催しました。今年度は秋の和光フェスティバルに合わせて11月2日に開催。(詳細は14pをご覧ください)

当日は、バトラー(紹介者)の発表方法も人それぞれで、自分の言葉をひとつひとつ紡いでいく人、本の絵を見せながら紹介するなど、どれも見ていて楽しくなるものばかりでした。

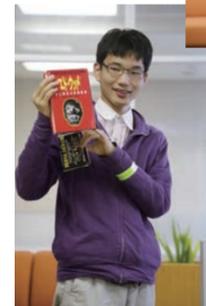
このビブリオバトルは、プレゼンする本を観戦者たちに「どれだけ読みたいと思わせるか」、に比重をおいています。しかし、時として、バトラーは本への思いが溢れ出してしまう、うまく伝わらないこともあります。でもそれがビブリオバトルの醍醐味。失敗を重ねながら、自分なりの表現方法を確立していくことで、印象深いプレゼンをすることができます。

次回開催は未定ですが、開催の折には、ぜひ皆さんもふるってご参加ください。まずは観戦からでもOK。バトラーへの飛び入り参加も歓迎いたします。

ビブリオバトル大まかなルール

- ①「これが好き!」「これを読んでほしい!」というお気に入りの本を持って集まる。(大会によってはテーマを設けることがあります。たとえば「科学」、「きのこ」など)
- ②プレゼンタイム。1人持ち時間5分で本を紹介しします。
- ③質問タイム。2~3分で観戦者との質疑応答を行います。
- ④②と③から「どの本が読みたくなったか」で投票を行い、その大会での「チャンプ本」を決定します。

【ビブリオバトル公式サイト】
<http://www.bibliobattle.jp/>



番外編

Pick Up Book

新聞「Counter」でおなじみ、LRP メンバーおすすめの本を紹介する Pick Up Book。今年も番外編として登場です。メンバーそれぞれのコメントと併せてお楽しみください。



『白川静さんに学ぶ 漢字は楽しい』

小山鉄郎著/新潮社/183p

漢字の成り立ちが学べ、楽しかった。何気なく使っていた漢字の由来は実は宗教的だった、などなど。携帯電話やインターネットの普及で、漢字を手書きしなくなってきた今、漢字を忘れないようにするための入門書だと感じた。(経済学科4年 義経)

『永遠のとなり』

白石一文著/文藝春秋/254p

題名に魅かれ、何気なく手に取った古本市で見つけた作品。中高年のおじさんの友情話であるとともに、生と死を真正面に捉えた作品だと思う。家族と別れ、主人公が故郷に帰ると、旧友が色々とお世話をしてくれ、何気なく暮らしていくが…。挫折した中高年が再生していく物語。(経済学科4年 義経)



『将軍様の鉄道：北朝鮮鉄道事情』

国分真人著/新潮社/144p

あまり知られていないが、鉄道は安全保障と深く結びついている。例えばインドでは駅の場所自体が「軍事機密」扱いであるため、地図にすら正確な位置が描かれていないという理不尽な状況が今なお続いている。では、北朝鮮では？鉄道をこよなく愛する著者が本書で明らかにした2002年時点での北朝鮮の鉄道事情は「経済が好調な時代に行った「進歩的」な鉄道政策が却って仇となり、日本統治時代以下に退化した」という悲惨なものだ。これを笑うのは簡単だが、我が国も人口減少社会を迎えつつある。案外、他人ごとでは済まないのかもしれない。(総合文化学科4年 致遠)



『天文法華一揆：武装する町衆』

今谷明著/洋泉社/349p

時は戦国、天文年間(1532-55年)。近畿地方で二つの巨大勢力が衝突した。一方は加賀一国を「仏国領」とし、近畿でも農民を中心に支持された「本願寺教団」。そしてもう一方は、京都の町人階級を主体とした「法華一揆」である。共に民衆からの支持を受け、時の権力をも揺るがしかねない武力を保有していた集団同士が、なぜ衝突する事となったのか。そして本願寺教団の「一向一揆」をも圧倒した「法華一揆」はなぜ滅びてしまったのか。戦国時代の「忘れられた合戦」に鋭く切り込んだ名著である。(総合文化学科4年 致遠)

2人のメンバーからおすすめ!

『幻想動物事典』

草野巧著 シンヤウジ画/新紀元社/374p

世界各地の神話伝承、現代のフィクション作品、都市伝説などに登場する幻獣約1000種を全種イラスト付きでまとめた事典。有名なモノから日本ではあまり知られていないマイナーなモノまで幅広く網羅されており、ちょっとした調べものとしても読み物としても充分に楽しめる内容になっております。巻末には、各幻獣が初出する作品および伝承の概要、地域別にまとめた索引もあり。(総合文化学科4年 おおかみどらごん)

世界中の幻想動物を紹介した事典。古代の神話や宗教書に登場するものから、比較的最近の小説や物語に登場するものまで幅広く収録。1002項目もあり調べるには最適で配列は見出し語の五十音順。一項目ずつにイラストがついていて、文章ではわかりにくいような見た目でも理解しやすい。参考文献も詳しく記載されていて、より詳しく調べたいときにも助かる。一項目の説明がかなり簡略化されているので専門的な知識がある人には物足りないと思われる。初・中級者向け。(経営学科2年 諒)

『狼女物語 美しくも妖しい短編傑作選』

G. マクドナルドほか著 ウェルズ恵子編・解説; 大貫昌子訳/工作舎/225p

表題作も含む、6編の19世紀英米で描かれた狼女(シーウルフ)がテーマの短編をまとめた作品集。ホラー作品などで目にする男性の人狼とはまた違った、妖しい魅力が詰まった狼女の魅力の一端に触れられる作品です。本編の他に、編者による各作品と人狼および狼女に関する詳細な解説つき。(総合文化学科4年 おおかみどらごん)

『最弱ナイン：不登校球児の青春』

柳川悠二著/角川書店/207p

「甲子園のためじゃない。グラウンドが、僕らのたった1つの居場所なんだ」。「甲子園は夢のまた夢。でも、野球にだけは真剣になれるんだ!」千葉にある「わせがく高校」。不登校球児たちが集う、最弱にして最小の野球部。「球児」のイメージとはかけ離れているが、目を離せない生徒たちの青春ドキュメント。さまざまな事情を持つ生徒や高校野球の監督にあこがれていた教師、チームを支える人々の苦労や努力、努力の成果などを、強く描いた作品。(総合文化学科3年 AW)

『弱くても勝てます：開成高校野球部のセオリー』

高橋秀実著/新潮社/203p

普通にやっていたら勝てるわけがない。「弱者」はギャンブルを仕掛けるしかない。限られたものの中で戦う進学校。守備より打撃、サインプレーなし、送りバントもしない。どさくさで大量点を取って打ち勝つべし!という意思を持っている。練習時間、グラウンド、施設すべてが不十分の学校が、都の大会のベスト16まで進んだ話、あるいはその方法、セオリーなどが書かれている本。野球のみならず、他の場面でも役立つかもしれない作品。2014年にドラマ化もされた。(総合文化学科3年 AW)



『犯罪・非行の社会学：常識をとらえなおす視座』

岡邊健編/有斐閣/308p

「犯罪心理学」は聞いたことがあっても、「犯罪社会学」は何の事かわからない。そのような感想を持つ方もいるのではないかと。この本はその「犯罪社会学」の基本的な内容を記した本である。内容は専門書でありながら、教科書的な本として成立している。文章だけでなく、各章の冒頭に用いられている例えもなじみのあるものが採用されている。学者の考えを読むに留まらず、一般読者もまた自ら考えられるように工夫された良書なのだ。(総合文化学科3年 4410)

『歴史はスメールに始まる』

N・クレマー著 佐藤輝夫、植田重雄訳／新潮社／223p

スメール、とは現在のイラン付近にあった古代文明の事だ。現在はシュメールと言った方が通りはいだろう。この本は半世紀以上前に出版されたものであるから、ところどころ読みにくい箇所もあるし、学術的に整理されているとは言い難い。しかし、一冊の紀行文として読むなら話は変わってくる。歴史の教科書で習う程度の知識で得られるメソポタミア文明へのイメージとは、全く異なった世界が描かれているのだ。学校や医学についての項目を読むとき、あたかも私たちと同時代人にして異国の人々の生活を辿っているような気になることがある。(総合文化学科3年 4410)

『JAZZ PERSPECTIVE』(雑誌)

DU BOOKS

よく寄るCDショップで音楽レコードがダンボールに20枚位入って、15m程ズラッと並んでいるのをよく見かける。またその前で目を凝らす客もよく見かける。物好きがいるなあ、と思う同類の私も真似して眺めてみる。するとジャケットの多様さや劣化具合が興味をそそる。趣味の古本漁りと酷似していることもあり、プレーヤーもないのに時々買ったりしている。蒐集に役立つのがこの雑誌で、楽曲レビューや蒐集家、業界人の談話はもちろんテーマ縛りのジャケット紹介、廃盤紹介なるコーナーもある。近頃オーディオの紹介を読んでプレーヤーを品定め。(総合文化学科3年 グリズリー)

『日和下駄』

永井荷風著／講談社／217p

最近携帯をスマートフォンへ変えてからマップ機能を使い、散歩のルートを思案するようになった。目星をつけるのにガイドブックなど見ようとするが、どうも商売っ気が鼻につく。考えた挙句、本棚にあった荷風の『日和下駄』を参考してみることにした。するとこれがなかなか、地名は旧いは、当時の建築物は現在無いほど探すのも一苦労。また食指を動かされた所へ行ってみたいはいいが、本に書いてあるような景色は当然だがほとんどが面影は消えている。荷風が生涯感じていた逝きし世の面影への郷愁に思いを馳せる今日この頃である。(総合文化学科3年 グリズリー)

『妖怪アパートの幽雅な日常』

香月日輪原作 深山和香漫画／講談社／214p

物語の舞台は、妖怪と幽霊と人間が同居している不思議なアパート。主人公稲葉夕士がひとり暮らしを始めたアパートには、人情味あふれる「クセ者」入居者ばかり…原作は同じく講談社から出版されている文庫。タイトルも漫画と同じだ。個性ある妖怪のキャラクターはイラストでさらに個性的になりとても面白い。さあ、キミも人間より人間らしい妖怪と一緒に住みこもう！(総合文化学科2年 月兎)

『大江戸妖怪かわら版』

香月日輪原作 高橋愛漫画／講談社／224p

『妖怪アパートの幽雅な日常』の原作者・香月日輪のもう一つの人気作を漫画化したもの。舞台はあの世でもこの世でもない魔都・大江戸——。そこに住まうはこの世界でたった一人の人間の少年・雀は町唯一のかわら版屋を営んでいた。複雑怪奇ななりと優しき心を持つ妖怪たちは、『妖怪アパートの幽雅な日常』同様人間味がありとても親近感がわく。様々な妖怪が登場するので、妖怪好きにオススメの作品。(総合文化学科2年 月兎)

『灰かぶり』(断章のグリム1)

甲田学人著 三日月 かけるイラスト／アスキー・メディアワークス／319p

曰く、この世界に存在する怪現象は、全て“神の悪夢”の欠片である。この悪夢の泡は人間の意識に浮かび上がると、急速に人の恐怖や悪意や狂気と混ざり合う。そして、現実世界に悪夢の物語を作り上げる。だが、悪夢の泡が非常に大きかった時、それは、明示的に、暗示的にと、様々な形で『昔話』や『童話』のエピソードにつながっていく。誰もが知っている童話をなぞるかたちで怪現象が起こっていく。グロテスクな表現が多々見られるが、ストーリーは非常に面白い。自分が知ってる童話に隠された意味があると知ったとき、あなたは何を考えるのだろうか。(総合文化学科2年 月兎)

『アリスインワンダーランド』(ディズニーアニメ小説版)

T.T.サザーランド作 しぶやまさこ訳／偕成社／270p

ディズニー映画『アリス・イン・ワンダーランド』を小説化したもの。表紙には話題を呼んだジョニー・デップのマッドハッター姿が採用されている。19歳になり美しく成長したアリスは、ある日ウサギ穴に落ちてしまう。そこはかつて彼女が迷い込んだアンダーランドだった。そんなアリスを待ち望んでいた白の女王やマッドハッター。ディズニーが贈る、壮大な冒険ファンジーを文章で読める。話の展開などは映画通りで映画を見た人はシーンを思い起こすことができる。もちろん、映画を見ていない人にもオススメだが、本と共に是非映画もみて欲しい。(総合文化学科2年 月兎)

『オオカミさんと七人の仲間たち』

沖田雅著 うなじ絵／メディアワークス／327p

「私立御伽学園に通う高校一年生、大神涼子。子供も怖がる凛々しい目。笑うと覗く魅惑的な犬歯。そんなワイルドな美人の彼女が、親友の赤井林檎、涼子に思いを寄せる森野亮士、所属する御伽学園学生相互扶助協会の面々と共に世直しのために戦う物語。熱血人情ラブコメその他色々風味」(書籍の帯より要約)。登場人物は様々なおとぎ話・童話のキャラクターがモチーフになっていて、複数のキャラクターの要素を持つ登場人物も少なくない。たびたび作中のキャラクターが地の文にツッコミなどを入れるという面白い特徴がある。(経営学科2年 諒)

『神話・伝説とおとぎ話：ヨーロッパの図像』

海野弘解説・監修／バイインターナショナル／299p

ギリシャ神話、聖書、北欧神話、アーサー王伝説などファンタジー系のものをテーマにした作品を集めた本。作品のもとになった話や解説がついており、美術や絵画に詳しくなくてもより深く作品を知ることができる。また、ファンタジーを描いた画家を紹介する章があり、あまり有名ではない画家も載っているので、自分の好みの画家を見つけられるかも。絵がメインなので長い文章や文章ばかりの本が苦手な人にもおすすめ。(経営学科2年 諒)

本棚日和

「本棚」を見れば、そのヒトが分かる。

「本棚のデザイン」を見れば、そのヒトの趣味嗜好が分かる。

「本棚の中の本」を見れば、そのヒトが何に興味を持っているのかが分かる。

「本の並び」を見れば、そのヒトが几帳面か頓着しない性格かも分かる。

ブックエンドや空いたスペースに飾られた小物を見ても良いだろう。

本棚とは、そのヒトの人生を映す鏡である。

このコーナーにあるのは、そんなヒトの人生の像の一部である。

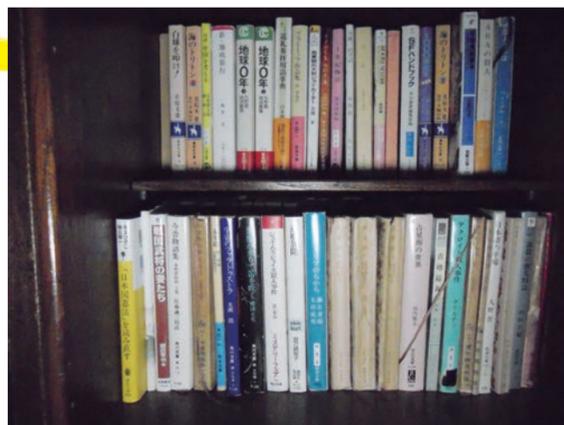


本好きな人間がしばしば陥ってしまう状況の一つに「いつか読もうと思っていた本が読まれないまま大量に溜まってしまふ」というものがある。俗にいう「積ん読（つんどく）」である。

かくいう私も慢性的に「積ん読」を抱えてきたのであるが、この一年間は卒論関係の専門書と論文ばかり読んでいた為、未読の本は増えこそすれまったく減らなかった。ここまでくればもうお分かりかと思うが、この写真に撮られている本棚に収納してある本はすべて「実は読んでいない」ものである。

正直な話『海のトリトン』のノベライズ版や『地球零年』の漫画版、更にはバーナード・コーンウェルのアーサー王三部作等の貴重本は見ているだけでも優越感に浸れるのであるが、さすがにそろそろ「読んでおきたい」と思っている。

(総合文化学科4年 致遠)



本棚は、中世近代を意識してダークブラウンの木製カラーボックスを採用。

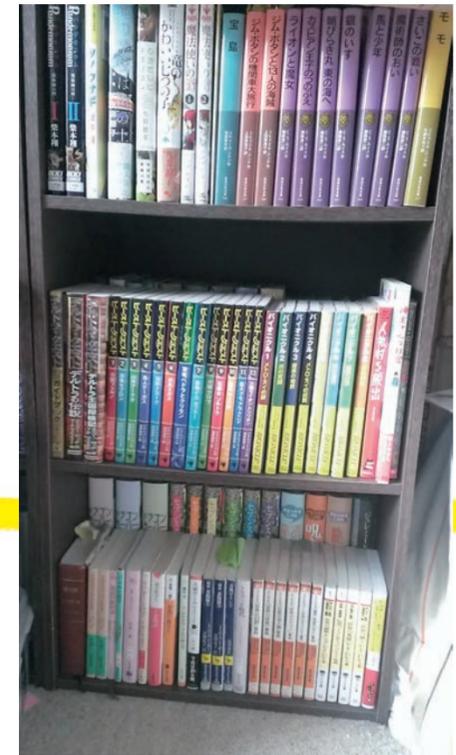
本の並び方も、ちょっとだけこだわっています。

興味があれば作家ジャンル問わずに何でも読んできましたが、今も昔も主に読んでいるのは、ファンタジー。

特にヤングアダルト向けの児童ファンタジーが好みで、本屋に行く時は、決まって児童書コーナーに立ち寄ります。その延長で神話や伝承に興味を持ち、関連する本（主にクリエイター向け）も読み漁るようになり、最終的には和光大学に入るきっかけにもなりました。

基本的に、本棚は、本がギッシリ詰まっている方が好きなので、小物は少なめです。

(総合文化学科4年 おおかみどころ)



奥正面は筆筒の上に歴史関係の評論や海外文学の単行本、絵画画集、絵本をのし掛かるように並べている。

左手には前面可動式の本棚を二架置き、奥側にマンガやイラスト画集を入れ、手前側には近代日本文学の評論や作品全集・文庫、さらに趣味の妖怪・民俗学関係の専門書も入れている。

金属製の棚には紀行エッセイなどの本を置いてある。その他近日に読み返さないであろう本はダンボールに詰めて、自宅から徒歩5分の祖母宅へ運ぶ。

この部屋で寝起きしているので就寝中本棚が倒れようものならば、もれなく本の海に沈む、ブクブク...

(総合文化学科3年 グリスリー)



本棚日和

部屋で一番大きい本棚の二段目です。右側はファンタジー系の事典等が並んでいます。

真ん中の4冊はコンビニで購入したもので、内容が知識としては不十分なようですが読み物としては面白く、興味・関心を広げてくれました。

『戦国武将完全ビジュアルガイド』は156人の武将を家別に紹介しており、この人はどんな人なのだろうと思ったときに役立っています。

左側はアニメ原作のもの、ポカロ小説です。真ん中にある文庫本のうち『死者の声なき声』（フォルカー・クッチャー著 酒寄進一訳）は授業で教科書として使用したもので、和光大学表現学部総合文化学科の酒寄進一教授が翻訳しています。

とても面白くてシリーズ物なので、他の巻も購入する予定です。

(経営学科2年 諒)



本棚といった棚を持っていないので、洋服タンスの下の部分を使い即席の本棚を作り、漫画をしまっています。

漫画の種類はいろいろありますが、画像のおり少女漫画より少年漫画が多くあります。ファンタジーから、バトルもの、日常の一コマを描く漫画など様々で、幅広く集めています。

前に二段、後ろにも二段分重ねていて、毎回後ろの漫画を取るときに一苦労しています。ここに入らなかった漫画は箱に入れて保管しています。既に8箱がいっぱいになっていて、あたらしい漫画の保管場所を探しています。冊数を100超えたあたりで数えるのをやめてしまったため漫画が何冊あるかは不明ですが、とりあえず大量にあります。

(表現文化学科2年 月兎)



【所属学科】総合文化学科

【学年】3年

【P.N】AW

【好きな本】「寛容力」(渡辺久信 講談社)

【好きな音楽】スキマスイッチ

【趣味(読書以外)】スポーツ観戦

【自分を動物に例えると】象

【好きな本屋(古本屋含む)】長谷川書店

【好きな授業(理由)】映画論(もともと映画が好きであったため)

【行ってみたい場所】カナダ

【かなえたい夢】リーグ戦優勝

【好きな言葉】突破

【所属学科】総合文化学科

【学年】3年

【P.N】4410

【好きな本】Fate / Zero、PSYCHO-PASS、アンドロイドは電気羊の夢を見るか

【好きな音楽】クラシック

【趣味(読書以外)】ゲーム

【自分を動物に例えると】ネコ科のいずれか

【好きな本屋(古本屋含む)】ジュンク堂書店池袋本店

【好きな授業(理由)】現代逸脱論(発表 & 討論形式で自由に発言できるから)

【行ってみたい場所】剣と魔法のファンタジーRPGの世界

【かなえたい夢】今のところ司法書士になること

【好きな言葉】晴耕雨読

【所属学科】総合文化学科

【学年】2年

【P.N】月兎

【好きな本】グリム童話

【好きな音楽】Sound Horizon

【趣味(読書以外)】小説を書く事

【自分を動物に例えると】兎(寂しがり屋なので)

【好きな本屋(古本屋含む)】BOOK・OFF

【好きな授業(理由)】日本の文化と文学 津田博幸先生

【行ってみたい場所】ヨーロッパ(特にイギリス)

【かなえたい夢】編集業につくこと

【好きな言葉】「ありがとう」

【所属学科】経済経営学部経営学科

【学年】2年

【P.N】諒

【好きな本】神話や童話、歴史などについて書かれたもの全般

【好きな音楽】アニメソング、ヴィジュアル系ロック、ポカロ系

【趣味(読書以外)】アニメ・漫画、写真、懐中時計収集、寝ること

【自分を動物に例えると】牛

【好きな本屋(古本屋含む)】紀伊国屋、有隣堂、文教堂、BOOK・OFF

【好きな授業(理由)】日商簿記検定3級対策(簿記の勉強が好きだから)、ドイツ文学を読む(一つの作品について歴史的背景、作中の時代のこと等、自分ではわからないことがわかるから)

【行ってみたい場所】サグラダ・ファミリア(スペイン)、イタリア、イギリス、フランス、ドイツ、ギリシャ、パチカン市国等々ヨーロッパ各国

【かなえたい夢】ヨーロッパに旅行に行く

【好きな言葉】毘沙門天

【所属学科】芸術学科

【学年】1年

【P.N】eme

【好きな本】桜の森の満開の下で、犬を連れた奥さん、飛ぶ教室、高野聖、オリエント急行殺人事件、真田太平記、大地、他

【好きな音楽】ゲームのBGM、ロック、ジャズ他

【趣味(読書以外)】絵画、ゲーム、映画鑑賞、料理

【自分を動物に例えると】猫

【好きな本屋(古本屋含む)】吉祥寺にあるブックス・ルーエ

【好きな授業(理由)】文や歴史の授業

【行ってみたい場所】ドイツ

【かなえたい夢】図書室のある家を持ちたい

【好きな言葉】怒りは敵と思え

反省点の多い一年であったが、企画自体は充実したものであったと思う。今年で最後のLRP（のはず）。私は卒業してしまうが、これからもこの活動が未来永劫続くことを願っている。LRP各員、後の事はまかせた。

(総合文化学科4年 おおかみどらごん)



私は友達に誘われて今年度からLRPの活動に参加しました。企画本棚がとても楽しかったです。あまり関心のないジャンルなどになることもあるのでそういう時は選書が難しかったです。自分の知らない本と出会えたりしていい経験になりました。

(経営学科2年 諒)



今年を振り返って
LRP
メンバーの
声



今年度は前期の中盤で怪我により前線離脱し、活動に参加出来なかったのが残念でならない。復帰した後期もあまり活気を盛り上げることが出来なかった。来年度は新入メンバー勧誘を中心にやっていきたい。

(総合文化学科3年 グリスリー)



LRPに入り二年目、今年は自分が企画した本棚企画が通るなど、LRPの活動にも慣れたかと思えます。多摩図書館見学ツアーではとても貴重な体験をしたなと思えます。個人的に後期の活動に参加出来なかったのが残念だと思ってます。

(表現文化学科2年 月兎)



今年度はあまり活動に参加できなかった。しかし、一番の思い出は2月の選書ツアーで、とても楽しかった。限定はつくものの、自分の選書した本が図書館に入るの嬉しく、LRPの醍醐味の一つと言える。

(経済学科4年 義経)



ゼミナール、実習などさまざまなことがあり、LRPの企画などに多くは参加できなかったのですが、自分がやりたかった本棚企画ができ、充実させることができたとおもいます。来年はどうなるか、不安もありますが、楽しみもあります。

(総合文化学科3年 AW)



今年からLRPに入り、右も左も解らない状態でした。先輩方に指導されながらついていくのに精一杯でしたが、来年は自分から行動できるように頑張ろうと思います。

(芸術学科1年 eme)

今年度は『もう四年になったんで隠居します!』と、言っておきながら、事あるごとに後輩のやることにいらん口出しをしておりまして、つとこの宮崎駿だよ。後輩の皆さん。さすがに卒業後は口出ししないので許してください。

(表総合文化学科4年 致遠)